

平成18年（2006年）3月

セネキオ マクロGLOSSUS種

(*Senecio macroglossus* DC.)

対象植物の範囲

本審査基準の対象植物は、キク科 (Compositae) のセネキオ属マクログロッシス種 (*Senecio macroglossus* DC.) とする。

特性審査基準
(1)特性審査基準

重要な 形質	番号	形質	定義	調査方法	状態又は 区分	階 級	標準品種	備考
茎の形 状	1	茎の太さ	最長1次分枝の中間部 の太さ	測定 (mm)	細 中 太	3 5 7	緑葉	
	2	茎の長さ	最長1次分枝の長さ	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7	緑葉	
	3	茎の緑色の程度	茎の緑色の程度	観察	淡 中 濃	3 5 7	緑葉	
	4	茎のアントシアンの 着色の有無	茎のアントシアンの着色 の有無	観察	無 有	1 9	緑葉	
	5	茎のアントシアンの 着色部の色	茎のアントシアンの着色 部の色	観察	淡 中 濃	3 5 7	緑葉	
	6	節間長	最長1次分枝の中間部 5節間長	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7	緑葉	
葉の形 状	7	葉の頂裂片の形	葉の頂裂片の先端の 角度	観察 図1	鋭 中 鈍	1 2 3	緑葉	
	8	葉のよじれ	葉のよじれの有無	観察	無 有	1 9	緑葉	
	9	葉身長	葉身長	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7	緑葉	
	10	葉幅	葉幅	測定 (cm)	狭 中 広	3 5 7	緑葉	
	11	葉の表面の色	葉表面の色	観察	淡緑 緑 濃緑	1 2 3	緑葉	
	12	葉の表面の斑の有 無	葉表面の斑の有無	観察	無 有	1 9	緑葉 バリエガタ	
	13	葉の表面の斑の種 類	葉表面の斑の種類	観察 図2	外斑 中斑 掃き込み斑 散り斑 砂子斑	1 2 3 4 5	バリエガタ	
	14	葉の表面の斑の色 数	葉表面の斑の色数	観察	1 2 3	1 2 3		
	15	葉表面の斑の主 たる色	葉表面の斑の主たる色	JHSカラーチャートの 色票番号による				
	16	葉表面の斑の従 たる色	葉表面の斑の従たる色	JHSカラーチャートの 色票番号による				
	17	葉裏面の色	葉裏面の色	観察	淡緑 緑 濃緑	1 2 3	緑葉	
	18	葉裏面の斑の有無	葉裏面の斑の有無	観察	無 有	1 9	緑葉 バリエガタ	
	19	葉裏面の斑の種類	葉裏面の斑の種類	観察 図2	外斑 中斑 掃き込み斑 散り斑 砂子斑	1 2 3 4 5	バリエガタ	
	20	葉裏面の斑の色数	葉裏面の斑の色数	観察	1 2 3	1 2 3		

重要な 形質	番号	形質	定義	調査方法	状態又は 区分	階級	標準品種	備考
葉の形状	21	葉裏面の斑の主たる色	葉裏面の斑の主たる色	JHSカラーチャートの色票番号による				
	22	葉裏面の斑の従たる色	葉裏面の斑の従たる色	JHSカラーチャートの色票番号による				
	23	葉脈のアントシアニン着色の有無	葉脈のアントシアニン着色の有無	観察 図3	無 有	1 9	バリエガタ 緑葉	
	24	葉柄の長さ	葉柄の長さ	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7	緑葉	
花の形状	25	蕾のアントシアニン着色の有無	蕾のアントシアニン着色の有無	観察 図4	無 有	1 9	バリエガタ 緑葉	
	26	花径	花径	測定 (cm)	小 中 大	3 5 7	緑葉	
	27	管状花部の直径	管状花部の直径	測定 (cm)	小 中 大	3 5 7	緑葉	
	28	舌状花横断面の形	舌状花横断面の形	観察 図5	1型 2型 3型	1 2 3		
	29	舌状花先端の形	舌状花先端の形	観察 図6	突形 鋭尖形 鋭形 鈍形 丸形 切形 凹形 齒形	1 2 3 4 5 6 7 8		
	30	舌状花の長さ	舌状花の長さ	測定 (cm)	短 中 長	3 5 7	緑葉	
	31	舌状花の幅	舌状花の幅	測定 (mm)	狭 中 広	3 5 7	緑葉	
	32	舌状花表面の色	舌状花表面の色	JHSカラーチャートの色票番号による				
	33	舌状花表面の模様の有無	舌状花表面の模様の有無	観察	無 有	1 9	緑葉	バリエガタ
	34	舌状花表面の模様の種類	舌状花表面の模様の種類	観察 図7	覆輪 爪斑 斑点状 条斑 底部白又は淡色 底部濃色	1 2 3 4 5 6		
	35	舌状花表面の模様の色	舌状花表面の模様の色	JHSカラーチャートの色票番号による				
	36	舌状花裏面の色	舌状花裏面の色	JHSカラーチャートの色票番号による				
	37	舌状花弁数	舌状花弁数	測定 (枚)	少 中 多	3 5 7	緑葉	
	38	開花始の早晩	開花始の早晩 (挿し芽後の日数)	測定 (日)	早 中 晩	3 5 7	緑葉	
早晩性								

標準品種名	商品名	学名	入手先
緑葉	マーガレットアイビー(セネシオ)	<i>S. macroglossus</i>	(有)浅野園芸
バリエガタ	マーガレットアイビー(セネシオ バリエガタ)	<i>S. macroglossus</i> cv. Variegatum	(有)浅野園芸

(2)特性審査基準(案)参考図

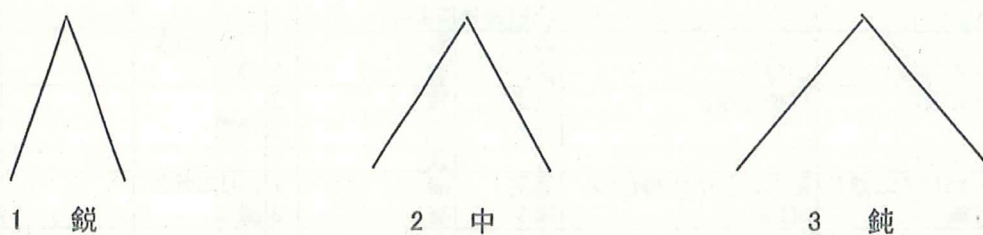
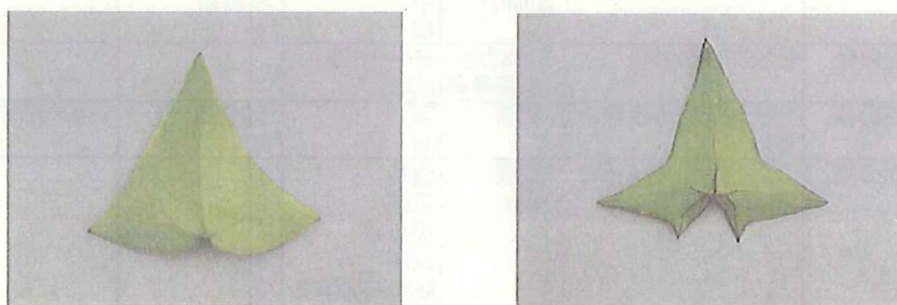


図1 葉の頂裂片の形 (形質7)



図2 葉の斑の種類 (形質13、19)



9 有
図3 葉脈のアントシアニン着色の有無 (形質23)

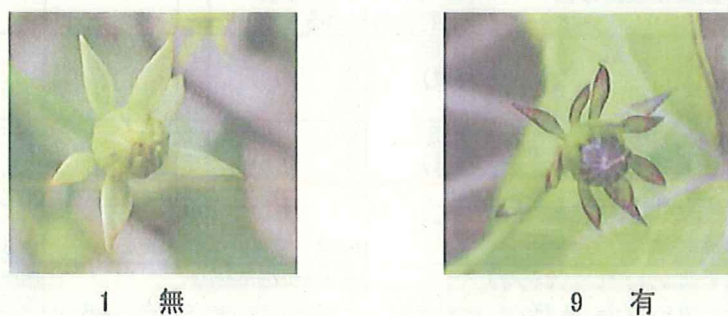


図4 蕾のアントシアニン着色の有無 (形質25)

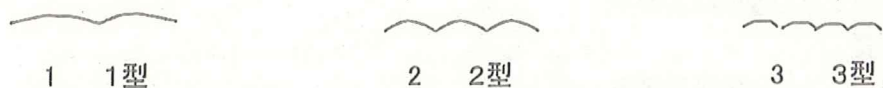


図5 舌状花卉横断面の形 (形質28)

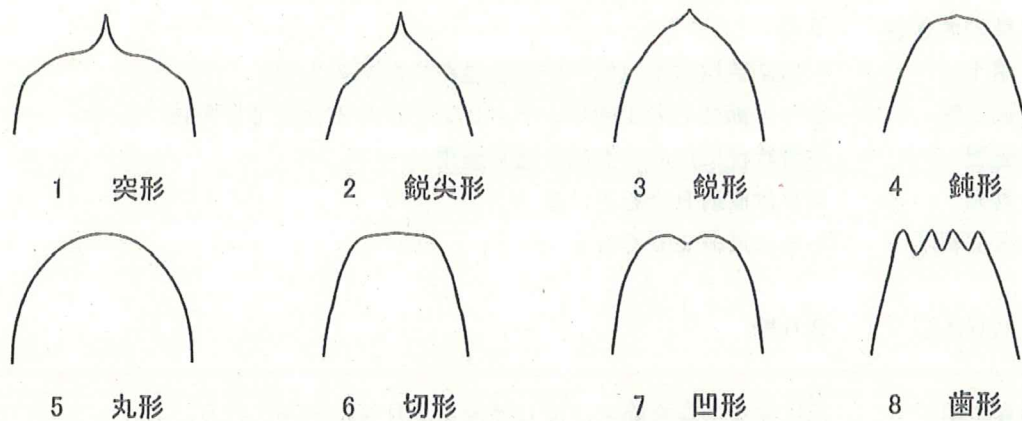


図6 舌状花先端の形 (形質29)

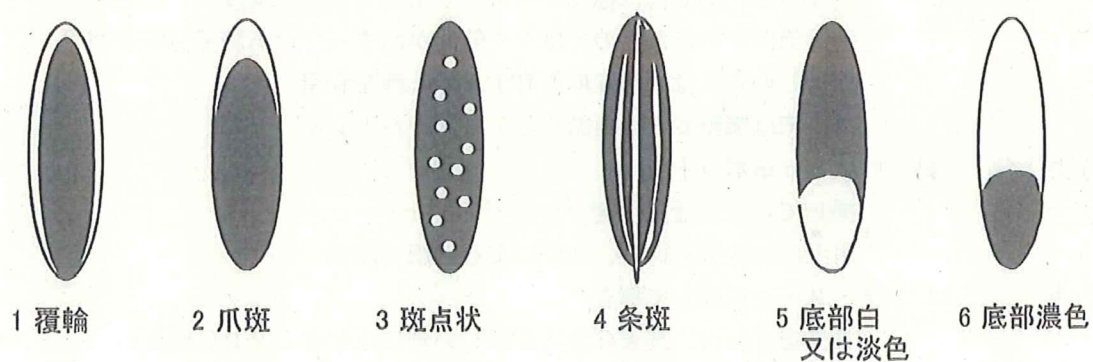


図7 舌状花表面の模様の種類 (形質34)

特性検定のための栽培試験方法

(1) 耕種概要

- ・ 作型 施設鉢栽培
- ・ 挿し芽 6月
天芽挿し、挿し穂は穂長5～10cmで4～5節程度
用土は一般挿し芽用、調整ピートまたはパーライト等
- ・ 鉢の大きさ 5号
- ・ 用土 一般園芸培養土（肥料成分含量が少なめのもの）
- ・ 摘心等 3～4節残しの1回ピンチ、ピンチ後3本仕立てに整枝
- ・ 施肥 生育状況に応じ、液肥を適宜施用
- ・ 遮光 真夏は直射日光を避ける
- ・ 温度管理 冬期は最低10℃以上

(2) 供試個体数 20株

(3) 調査時期 花に係る形質を除き、挿し芽後4か月後に一斉に行う。

(参考) 現地調査時の調査対象株の栽培方法

- 6月中旬 挿し芽：採穂後に切り口を少し乾かしたのちに挿す
天芽挿し、挿し穂は穂長5～10cmで4～5節程度
穂は節間が伸びたものではなく節間が詰まっている腋芽分枝を利用
管挿しの場合は2節程度を有する挿し穂を利用
挿し床は調整ピートを詰めた72穴セルトレイ
- 7月上旬 鉢上げ：9cmポット
挿してから2週間程度で発根
用土は肥料分を抑え、液肥による追肥で調整
- 8月 ピンチ：3～4節残して摘心
日光を好むが、真夏の暑さが厳しい時には遮光（20%程度）
- 10月中旬 定植 ：4、5～5号鉢
用土は同一
冬期を通じ最低温度は10℃以上で管理
- 1月下旬 開花始め（開花が早めの品種）
温度条件によるが、一般的には3月から開花
※株が若いと開花しにくい。大株の場合は春のほか秋にも開花する。

参考写真

<既存品種>

「緑葉」



「バリエガタ」

